

# 学級活動指導案

## 議題「文化祭の出し物を決めよう」〔学指要領：(1)ア〕

令和7年10月 第1学年 指導者 越澤 昂洋

### I 議題の構想

#### 1 議題観

本学級では、年度当初に「自分で考えて行動できるクラス、楽しくて平和な学校生活を送れるクラス」という学級目標を設定した。大きな学校行事の一つである文化祭は、クラス全員が一つの目標に向かって協力する貴重な機会と考える。しかし、生徒たちは自分の意見を主張する一方で、他者の意見に耳を傾けることが苦手な側面が見受けられる。そこで、今回の議題「文化祭の出し物を決めよう」を通して、改めて学級目標の意義を生徒自身が再確認し、目標の実現に向けた具体的な取り組みを主体的に考え、実行する機会とする。

この議題を設定することで、生徒たちは文化祭という身近でワクワクするテーマを通して、自分の考えを整理し、クラスの仲間と目標を共有する経験を積むことができると思う。また、多様な意見を尊重し合い、合意形成を図る過程では、互いを大切にする態度の育成にもつながっていく。そして、生成AIを利活用することで、これまで意見集約に費やしていた時間を効率化し、協調的な話合いの時間を確保することが可能となる。さらに、生徒が自らの学級生活をよりよくするための方策を考え、実行することは、学級経営の充実だけでなく、協力して課題を解決できる生徒の育成にもつながる。

以上のことから、本議題を学級活動のテーマとして取り上げ、生徒が主体的に学級目標の実現に向けた取組を考え、実践する力を育むことを目指す。

#### 2 研究との関わり

本実践は、「学級会に主体的に参画し、協調的な話合いを図る生徒の育成」という研究主題のもと、学級会を通して話合いの力や仲間の意見・考えを大切にする態度を育てることを目指している。これまでの学級会では、議題設定や進行案の準備に時間を要し、また、多様な意見の整理に手間取り、本質的な議論が深まらないという課題があった。

そこで、本研究の手立てとして、生成AI (Google Gemini) を利活用する。まず、事前アンケートの結果を踏まえ、生成AIが作成した進行案を基に、計画委員が学級の実態に合わせて修正・構成する活動を取り入れることで、生徒の主体性と運営の見通しをもたせる。次に、学級会の授業では、教師が生徒一人一人の意見を生成AIに読み込ませ、「意見の表」として可視化することで、計画委員の生徒による意見集約にかかる時間を短縮させる。これにより、文化祭の出し物というテーマについて、合意形成に向けた時間を確保し、協調的な話合いを行うことができるようにする。

#### 3 育成を目指す資質・能力及び生徒の実態

	資質・能力	生徒の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"><li>学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ</li><li>て解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。</li><li>合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>他者と協働して取り組むことの大切さを理解している生徒はいるが、合意形成の手順や活動の方法が身に付いている生徒は少ない。</li></ul>
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"><li>学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。</li><li>課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている生徒はいるが、協働して実践できる生徒は少ない。</li></ul>
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"><li>学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>他者と協働して日常生活の向上を図ろうとする態度が見られる生徒は少ない。</li></ul>

#### 4 評価規準

知識・技能	・学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。
思考・判断・表現	・学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。課題解決に向け話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。
主体的態度	・学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

#### 5 指導及び評価の計画（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

過程	日時	□学習活動	知	思	態	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
事前の活動	9/17 9/24 10/1	・計画委員がアンケート調査を行い、その結果を基に議題を選定する。 ・学級全員で議題を決定する。 ・計画委員が学級会の進め方について確認する。				○ ◆学級会への見通しをもち、自分なりの意見を考え、入力や発表をしている。 <Google フォーム（態①）>
本時の活動	10/3	□議題に対する生徒一人一人の意見を生成AIに読み込ませ、整理・可視化した「意見の表」を利活用し、多様な意見を受け入れながら、お互いの考えを大切にして合意形成に向かうことができる。  <話し合いのめあて> 一人一人の意見や考えを尊重しながら、出し物を決めよう	●	●		◆議題について話し合う必要性を理解し、生成AIで可視化された「意見の表」から意見の共通点や違いを整理して話し合っている。 <観察（知①）> ◆学級目標の実現に向けた具体的な取組について、自分の意見だけでなく友達の意見も認めながら考えている。 <Google フォーム（思①）>
事後の活動	10/4 10/17 随時	・計画委員が学級会で決定した内容を掲示する。 ・活動状況についてアンケート調査を行う。 ・活動状況を振り返り、今後の活動に生かす。				○ ◆学級会で決定した内容について自分の役割を自覚し、友達と協力して実践している。 <観察・アンケート（態②）>

## II 本時の学習

1 **ねらい** 議題に対する生徒一人一人の意見を生成A Iに読み込ませ、整理・可視化した「意見の表」を活用し、多様な意見を受け入れながら、互いの考えを大切に合意形成に向かうことができる。

### 2 展開

<p>主な学習活動 予想される生徒の反応〔S〕</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 <b>事前に決定した議題や提案理由を確認し、話合いのめあてをつかむ。</b>（導入5分） S：議題と提案理由が確認できたぞ。 S：話合いのめあてを達成できるように進めていきたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;話合いのめあて&gt; 一人一人の意見や考えを尊重しながら出し物を決めよう</p> </div>	<p>○話合いの必要性について確認し、生徒一人一人が自分事として目的意識をもって活動できるように、計画委員が議題や提案理由を伝える場を設定する。 ○生徒がお互いの意見を尊重しながら合意形成に向かうことができるように、本時の「話合いのめあて」を生徒とやりとりしながら教師が決める。</p>
<p>2 <b>個で議題に対する意見をもつ。</b>（展開5分） S：先輩たちは去年、劇をやっていたのだな。自分たちもやってみたいな。 S：みんなでダンスを作り上げて、披露するのはどうだろう。 S：これまでの学校生活の写真や手書きのイラストで振り返る展示コーナーがいいと思う。</p>	<p>◎挙手や発言が苦手な生徒も自分の意見を発信できるように、Google フォームに自分の意見を入力させる。 ◎意見をまとめる時間の短縮や生徒の発言力の強弱に関わらず、客観的に意見が見られるように、生成A I (Google Gemini)を利活用して「意見の表①」を教師が作成して生徒へ提示する。</p>
<p>3 <b>「意見の表」をグループで共有し、再度、個で議題に対する意見をもつ。</b>（展開10分） S：みんなの意見を尊重しながら聞くぞ。 S：私と同じように劇をやりたいという人がいる。どんな理由だろう聞いてみたいな。 S：ソーラン節、小学校でやったな。また、みんなでやりたいから私もこの案にしようかな。</p>	<p>○自分の思考を言語化し、意見や考えを尊重できるように「意見の表①」を基にグループで交流させる。 ◎生徒に意見を再入力させ、教師が「意見の表②」を作成・提示する。意図的に少数意見を可視化することで、特定の意見に偏らず多角的に検討できるよう促す。</p>
<p>4 <b>学級全員で合意形成を図る。</b>（終末30分） S：AさんやBさんの意見、そういう考え方もあるんだね。すごく分かりやすい。 S：劇は準備が大変そうだけど、クラスの一体感はずごく出そう。 S：ダンスに反対の意見もあるけど、全員が踊るわけじゃなくて、有志の人たちにやってもらうのはどうかな。 &lt;振り返り&gt; S：自分たちで考え、決定したことを意識しながら、文化祭へ向けて友達と協力しながら実践していきたい。</p>	<p>○生成A Iの表はあくまで参考であり、最終的な判断は自分たちで行うことを伝える。多数決で決めるのではなく、少数派の意見も生かす方法がないか問いかけ、全員の納得感を高める。 ○今後の学級活動への意欲を高められるように、自分たちで具体的な取組を決め、話合いのめあてに沿って合意形成できたことを称賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目 文化祭の出し物について、自分の意見だけでなく、友達の見解も認めながら合意形成に向かっている。&lt;Google フォーム（思①）&gt;</p> </div>

### 3 板書計画

<p>議題：文化祭の出し物を決めよう &lt;合意形成に向かう場面で&gt; 出し物：劇 内容：アナと雪の女王（劇の中にダンスを組み込む）</p>	<p>モニターに進行用スライドや表を映す</p>
---	--------------------------